

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
石狩川水系豊平川総合 水防演習	石狩・空知管内における洪水・地震・津波・土砂災害などの災害に備え、広域的な関係機関の密接な連携と水防技術の向上、水防意識の高揚を図るとともに、水防に対する地域住民の理解と協力を得るため、北海道開発局と対象河川の関係自治体を実施する実動訓練。	訓練への参加及び見学	H30年6月	平成30年6月17日(日)に石狩川水系豊平川左岸(札幌市東区東雁来町先)で本訓練を実施し、訓練参加者及び見学者約2,000人が参加した。	危機管理対策室 危機管理対策部 危機管理対策課 011-211-3062
平成30年度避難場所運営研修	指定避難所である市立小中学校を会場に、施設確認や避難所運営ゲーム(HUG)等を通じて、避難場所開設の的確な初動対応と基本的行動の確認を行い、受講者(区職員、学校職員及び地域住民)の防災意識と災害対応能力向上を図るために実施(年間30回:各区3回)	研修への参加及び見学	会場となる市立小中学校の夏期休暇又は冬期休暇期間中に実施予定	市立の小中学校の夏・冬期休暇中に実施し、区職員136名、学校職員118名、地域住民366名の計620名が参加した。	危機管理対策室 危機管理対策部 危機管理対策課 011-211-3062
地区防災計画モデル地区事業	地区防災計画を作成することによる地域防災力の向上を目指し、モデル地区事業として、連合町内会もしくは単位町内会の中から4地区程度を選定し、数回の勉強会やワークショップ等を通じて、地域の防災意識の醸成を図りながら、段階的な地区防災計画案の作成支援に取り組む。 また、平成29年度モデル地区における具体的な取組の実施についても、フォローアップを実施する。	勉強会・ワークショップ等への参加	H30年5月～ H31年2月	中央区から2地区、北区、白石区、厚別区からそれぞれ1地区を新たにモデル地区として選定し、勉強会及びワークショップを2～5回行い地域の防災意識の向上と地区防災計画の作成に取り組んだ。 また、平成29年度に選定したモデル地区においても2～3回ワークショップを行い、より良い地区防災計画になるよう支援した。	危機管理対策室 危機管理対策部 危機管理対策課 011-211-3062
平成30年度地区防災計画セミナー	地区防災計画モデル地区事業と並行して、全市展開を見据え、その他の地区に対する地区防災計画に係る取組への理解促進、普及啓発を効果的に展開していくことを目的としたセミナーを開催する。	セミナーへの出席	H30年7月14日	2名の講師に依頼し、地区防災計画の普及啓発・理解促進を目的に、各市民部、連合町内会役員及び市民防災団体連合会を対象に実施した(出席者220名)。	危機管理対策室 危機管理対策部 危機管理対策課 011-211-3062
地区防災計画フォーラム	有識者を招き、防災対策に関する新しい知見を札幌市、市民に取り入れるために、フォーラムを開催する。(プログラムは、年度毎に検討。EX. 女性防災、防災教育、企業防災)	意見交換会への参加	H30年11月24日	北海道胆振東部地震の発生を踏まえ、モデル地区7地区などの居住者の参加による被災体験を地区防災計画に反映させていくための意見交換会を実施し、情報共有することができた。	危機管理対策室 危機管理対策部 危機管理対策課 011-211-3062
行政評価制度	全ての予算小事業とその施策を対象として、施策や事業の有効性や、事業の必要性、効率性などの評価を実施する。	行政評価委員会 市民ワークショップ 指標達成度調査	H30年5月～12月頃 H30年8月～9月 H31年2月頃	行政評価委員会を5回実施。 無作為抽出により案内を送付し、31名が参加。 無作為抽出により4,000名にアンケートを送付し、1,447名から回答があった。	総務局 行政部 改革推進室 推進課 011-211-2061
http://www.city.sapporo.jp/somu/hyoka/index.html					
広報モニター、 子ども広報モニター調査	広報さっぽろ、市のお知らせ譲歩を配信している地デジ・アプリ、広報番組、ホームページに対する意見を定期的に送付してもらい、誌面の編集や番組作成等の参考にするための調査。	アンケート 会議	H30年4月～ H31年3月 H30年8月31日、 H30年9月1日	大人50人、子ども10人が回答した。 2日間で大人25人、子ども7人参加した。	総務局 広報部 広報課 011-211-2036
公式ホームページ 利用者アンケート	市公式ホームページについての評価や問題点、改善すべき点、利用者行動等について調査し、今後のホームページの改善・品質向上に向けた材料とする。	アンケート	H31年1月～ H31年2月	大人96人が回答した。	総務局 広報部 広報課 011-211-2036
http://www.city.sapporo.jp/koho/hp/eng/index.html					

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
札幌市障がい者によるまちづくりサポーターに対する公式ホームページ利用者アンケート	市公式ホームページについて、障がいのある方から問題点、改善すべき点などについて調査し、今後のホームページの改善・品質向上に向けた材料とする。	アンケート	H31年3月	札幌市障がい者によるまちづくりサポーター12人にアンケートを実施し、10人が回答。	総務局 広報部 広報課 011-211-2036
市民意識調査	施策・事業について、市民意識をきめ細かく把握したり幅広く把握したりすることで、問題の所在や将来展望についての分析を行い、施策・事業の企画・立案の基礎データとする。	アンケート	H30年7月、 H30年8月、 H30年10月、 H30年12月	1回あたり5000人の市民(18歳以上)を対象として年度4回郵送による調査を実施。	総務局 広報部 市民の声を聞く課 011-211-2045
http://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/citi_eng/index.html					
インターネットアンケート調査	市政に関する様々なテーマについて、民間リサーチ会社のインターネットアンケートサービスを活用することにより、市民等の意識をスピーディーに把握し、迅速・的確な意思決定や政策反映に資する。	アンケート	H30年7月～ H31年3月	1回あたり480人の市民等を対象として計10回アンケートを実施。	総務局 広報部 市民の声を聞く課 011-211-2045
http://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/net_question/index.html					
サッポロスマイルトーク	大勢の見学者が見込まれる開放された場所で、市民と市長が市政に関するテーマについて意見交換を行い、市政の参考とするもの。	意見交換会	H30年7月29日	チカホにて実施(傍聴者数約400人)。	総務局 広報部 市民の声を聞く課 011-211-2045
		意見交換会	H30年9月29日	北海道胆振東部地震のため中止。	
		意見交換会	H30年12月8日	チカホにて実施(傍聴者数約650人)。	
http://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/h26sapporosmiletak_top.html					
連携中枢都市圏ビジョンのパブリックコメント	連携中枢都市圏の中長期的な将来像や連携協約等に基づき推進する具体的な取組等を記載した連携中枢都市圏ビジョンについて、パブリックコメントを実施する。	パブリックコメント	H31年2月～ H31年3月	31日間の意見募集期間を設け、6人(42件)の意見提出があった。	まちづくり政策局 政策企画部 広域連携担当課 011-211-2281
次期未来創生プラン策定のための調査・分析業務	「結婚や出産を望む市民の希望がかなえられる社会」及び「地域に定着できる環境」(共にさっぽろ未来創生プランの基本目標)の実現に向けて、国の数値や過去の札幌市の数値との比較を行うため、意識調査を実施した。	アンケート	H30年12月～ H31年3月	郵送及びインターネットにより実施し、約1,700件の市民回答を得た。	まちづくり政策局 政策企画部 企画課 011-211-2192
http://www.city.sapporo.jp/kikaku/miraisousei/miraisousei.html					
まちづくり基礎調査「札幌市における他者とのつながり、多様性、信頼等に関する調査」	一般的に市民の活動が盛んな地域や、他者に対して広く開かれている地域は、様々な課題に対応する素地があるため、個人の幸福感が高いことが想起される。このことに関し札幌市の現状を把握するとともに、今後必要な手段・施策を考察することを行い、今後のまちづくりの基礎資料とするため、アンケートを実施した。	アンケート	H31年1月	郵送により約1,600件の市民回答を得た。	まちづくり政策局 政策企画部 企画課 011-211-2192
http://www.city.sapporo.jp/somu/machikiso/index.html(R1年度中に公開予定)					
まちづくり基礎調査「札幌市における豊かさの考え方に関する調査」	市民が考える、主観的な幸福度や各政策分野における「満足度」「重要度」を調査。札幌市における「豊かさ」を指標化していく検討材料とするほか、今後のまちづくりの基礎資料とするため、アンケートを実施した。	アンケート	H31年1月	郵送により約4,000件の市民回答を得た。	まちづくり政策局 政策企画部 企画課 011-211-2192
http://www.city.sapporo.jp/somu/machikiso/index.html(R1年度中に公開予定)					
まちづくり基礎調査「札幌で活躍したい若者の希望がかなうまちづくりに係る調査」	札幌市内大学生の地元定着やUターン就職を現状以上に促進するために、働きかけを行うべき主たる対象者の属性やその考え方、道内での就職に向けた条件、対象者への効果的なアプローチの方法などを把握するためにアンケートやグループインタビュー等を実施した。	アンケート	H31年1月～ H31年2月	インターネットアンケートを実施し、市内大学生795名から回答を得た。	まちづくり政策局 政策企画部 企画課 011-211-2192
		グループインタビュー	H31年3月	グループインタビューを計2回実施。市内大学生33名が参加した。	
http://www.city.sapporo.jp/somu/machikiso/index.html(R1年度中に公開予定)					

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
まちづくり基礎調査 「結婚、出産、子育てに 関する調査」	「結婚や出産を望む市民の希望がかな えられる社会」及び「地域に定着できる 環境」(共にさっぽろ未来創生プランの 基本目標)の実現に向けて、深く実態を 把握し、今後さらなる取組を検討していく ため、意識調査を実施した。	グループインタビュー	H31年3月	市民49名が参加した。	まちづくり政策局 政策企画部 企画課 011-211-2192
http://www.city.sapporo.jp/somu/machikiso/index.html (R1年度中に公開予定)					
札幌市ICT活用プラット フォーム検討会	官民が保有するオープンデータ・ビッグ データを収集・管理し活用を促進するた めの基盤「札幌市ICT活用プラットフォーム」(平成30年1月構築完了)の機能追加 や運営自主化などに向け、有識者より意 見を聴取する。	有識者会議	H30年9月、 H30年10月、 H30年12月、 H31年2月	H30年9月・10月・12月、H31年2月の計4 回を実施。	まちづくり政策局 政策企画部 ICT戦略推進担当課 011-211-2136
http://www.city.sapporo.jp/kikaku/ictplan/platform/index.html					
創成東地区まちづくり事 業	創成東地区のまちづくりにおける検討や 地区内での取組についての情報共有等 を行い、当該地区のエリアマネジメントを 推進する。	フォーラム	H31年3月	H31年3月22日にサッポロファクトリール ームで開催し、地域住民など約30名が参 加。	まちづくり政策局 政策企画部 都心まちづくり推進室 都心まちづくり課 011-211-2692
札幌駅交流拠点まちづ くり計画の策定	札幌駅周辺のまちづくりの指針となる「札 幌駅交流拠点まちづくり計画」を策定し た。	パブリックコメント	H30年8月8日～ H30年9月6日	46件の意見提出があった。	まちづくり政策局 政策企画部 都心まちづくり推進室 都心まちづくり課 011-211-2692
http://www.city.sapporo.jp/kikaku/downtown/sapporoeki/sapporoeki.html					
都心のエリアマネジメント に係るICT活用アイデア ソン事業	都心エリアで活動されている市民や働く 方々が、何気なく感じている地域の課題 をフィールドワークで見つけ出し、アイ デアとアプリなどのICTで解決するプラン を考える『さっぽろ エリアネ アイデア ソン』を、No Maps実行委員会と共同で開 催した。 参加グループから出されたアイデアのう ち、「デジタルサイネージを活用した絵本 読み聞かせイベント」がR1年6月9日に開 催される予定。	フィールドワーク・ ワークショップ	H30年11月25日	日常的に都心エリアを利用する方を対象 に、「地下と地上の回遊性」などの視点 で、対象エリアをフィールドワークで回っ ていただき、普段から困っていることや 「もっとこうなっていれば」といった要望の 他、気づいたことなどを出し合い、利用者 側から見た都心エリアの課題として整理を 行った。	まちづくり政策局 政策企画部 都心まちづくり推進室 都心まちづくり課 011-211-2692
		アイデアソン (ワークショップ)	H30年12月9日	11月25日のフィールドワークで抽出され た課題や資源、魅力、アイデアの種に対 して、エリアネアプリ「さつチカ」や各種 センサーなどのICT等の技術の活用も考 えながら、解決のためのアイデアを出しあ つてもらった。	
札幌都心まちづくり フォーラム	転換期を迎える札幌都心部において、 今後の新たな“まちづくり”の推進体制 について議論し、考えるフォーラム。	フォーラム	H31年3月7日	まちづくりに関して知見をもつ有識者等、 産学官の関係者による講演やパネルディ スカッションを通して、今後の都心まち づくりを進めていくにはどのような体制が 必要か、といったテーマについて考える機 会とした。	まちづくり政策局 政策企画部 都心まちづくり推進室 都心まちづくり課 011-211-2692
「市街化調整区域の保 全と活用の方針」の見直 し	平成27年度に策定した第2次札幌市都 市計画マスタープランの策定を踏まえ、 土地利用計画等の見直しを進めている ところ。 市街化調整区域の土地利用に関する施 策の運用方針として定めている「市街化 調整区域の保全と活用の方針」の見直し を行った。	パブリックコメント	H30年8月16日～ H30年9月14日	意見提出者数4名。 合計5件の意見が提出された。	まちづくり政策局 都市計画部 都市計画課 011-211-2506
http://www.city.sapporo.jp/keikaku/toshikei/youtochiiki/youtominaoshi-3.html					
用途地域等の全市見直 し	平成27年度に策定した第2次札幌市都 市計画マスタープランの策定を踏まえ、 土地利用計画等の見直しを進めている ところ。 用途地域等を定める際の基本的な考え 方を示す「土地利用計画制度の運用方 針」に即した、具体的な用途地域等の見 直しを行う。	パブリックコメント	H30年11月29日～ H30年12月28日	意見提出者数18名。 合計22件の意見が提出された。 (結果の公表は6月予定)	まちづくり政策局 都市計画部 都市計画課 011-211-2506
		各区説明会	H30年12月3日～ H30年12月14日	10区で合計41名が参加。	

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
都心における開発誘導 方策検討事業	第2次札幌市都市計画マスタープランや第2次都心まちづくり計画等の目標実現に寄与する都市開発を誘導するなど、都市開発制度の新たな運用方針を策定する。	パブリックコメント	H30年8月16日～ H30年9月14日	5名から25件の意見が提出された。	まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課 011-211-2545
http://www.city.sapporo.jp/keikaku/toshinkaihatsuyuudou.html					
新さっぽろ駅周辺地区ま ちづくり推進事業	新さっぽろ駅周辺地区の特性に応じたきめ細やかなまちづくりを行政と地域が一体となって進めるため、「新さっぽろ駅周辺地区地区計画」を定める。また、土地利用転換を図るため、市道「副都心団地5号線」などを廃道し、道路を新たに整備する。	地域説明会の実施	H30年6月26日	地域住民、事業者等約130名が参加。	まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課 011-211-2545
地域交流拠点まちづくり 指針検討事業	地下鉄平岸駅周辺地区において、地域住民や開発事業者などとワークショップを開催し、まちづくりの方向性を共有するための指針の検討を行う。	ワークショップの開催	H30年8月～ H31年3月	3回ワークショップを開催し、延べ57名が参加。	まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課 011-211-2545
		アンケートの実施	H30年10月	地区内の全戸及び地区外に居住している地区内の土地所有者を対象に実施し、880票の回答。	
		意見募集の実施	H31年2月	地区内の全戸及び地区外に居住している地区内の土地所有者を対象に実施し、60名の方々から意見が提出された。	
http://www.city.sapporo.jp/keikaku/kvoten/hiragisi.html					
まちの価値を高めるルー ルづくり推進事業	宮の沢中央町内会区域を対象に、地区の特性に応じたきめ細やかなまちづくりを行政と地域が一体となって進めるため、地区計画の検討を行う。	ワークショップの開催	H30年10月～ H31年1月	2回ワークショップを開催し、延べ25名が参加。	まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課 011-211-2545
		意見募集の実施	H31年2月	地区内の全戸及び地区外に居住している地区内の土地所有者を対象に実施し、33名の方々から意見が提出された。	
http://www.city.sapporo.jp/keikaku/chii/machidukuri/mivanosawachuo.html					
地域街並みづくり推進事 業	地域特性に応じた魅力的な景観づくりを推進するため、地域と協力しながら景観まちづくり指針を作成する等の取組を行った。	地域ワークショップ	H30年7月10日	新さっぽろ駅周辺地区(第1回) 参加人数:5名	まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課 011-211-2545
			H30年10月17日	新さっぽろ駅周辺地区(第2回) 参加人数:35名	
			H31年3月6日	新さっぽろ駅周辺地区(第3回) 参加人数:18名	
		地域フォーラム	H31年3月15日	苗穂地区 参加人数:40名	
		アンケート	H30年12月17日～ H31年1月16日	新さっぽろ駅周辺地区 回収数:638件	
もみじ台地域再構築推 進事業	もみじ台地域における地域課題の解決を図ることを目的に、もみじ台団地地区計画の変更を行った。	地域説明会	H30年7月	もみじ台地域における戸建住宅地区の地権者に案内を送付し、34名が参加。	まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課 調整担当 011-211-2545
http://www.city.sapporo.jp/keikaku/kougai/momii/index.html					
真駒内駅前地区まちづ くり推進事業	真駒内駅前地区を真駒内地域はもとより南区全体の拠点と捉え、地域課題への対応や土地利用再編の方向性について、「(仮称)真駒内駅前地区まちづくり計画」を平成31年度に策定すべく、地域と協議しながら検討を進めた。	検討委員会	H30年11月	検討委員会を1回(参加委員9名)、地域協議会を1回(参加者21名)開催し、南区及び真駒内地域の現状と課題等について意見交換。	まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課 調整担当 011-211-2545
		地域協議会	H31年2月		
http://www.city.sapporo.jp/keikaku/kougai/makomanai/index.html					
篠路駅周辺地区まちづ くり推進事業	篠路駅前の在り方について、地域の方と学識経験者を交えながら意見交換を行った。また、市有地の利活用検討の一環として、近隣自治体を含めて地域内外の方へアンケート調査を行った。	意見交換会	H30年6月～ H30年11月	地域住民11名、有識者3名で構成される懇話会(篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議)を5回開催した。	まちづくり政策局 都市計画部 事業推進課 011-211-2706
		アンケート	H31年1月～ H31年2月	地域住民を対象としたアンケート(2000通配布、794通回答)と、市民等を対象としたwebアンケート(516名回答)を実施した。	
http://www.city.sapporo.jp/toshi/kukaku/shinoro/shinoro.html					

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
北8西1地区第一種市街地再開発事業	民間活力を活用し、札幌駅交流拠点にふさわしい土地の高度利用や都市機能の更新を図るため、北8西1地区の市街地再開発事業を支援した。	地域説明会	H30年8月～ H30年9月	鉄西地区・鉄東地区の町内会役員計12名が参加。	まちづくり政策局 都市計画部 事業推進課 011-211-2706
http://www.city.sapporo.jp/toshi/saikaihatsu/redevelopment/jiyou/kita/consult/n8w1.html					
札幌市建築物における駐車施設の附置等に関する条例	条例改正内容について、市民意見を聴取するためパブリックコメントを実施する。	パブリックコメント	H30年8月1日～ H30年8月30日	4名の方から頂いたご意見の概要と、それに対する札幌市の考え方を回答した。	まちづくり政策局 総合交通計画部 交通計画課 011-211-2275
http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/shisaku/tyusya/contents.html					
札幌市総合交通計画の改定	札幌市を取り巻く社会経済情勢は変化し続けており、また上位計画として平成25年に札幌市まちづくり戦略ビジョン、平成28年に第2次札幌市都市計画マスタープランが策定されたことから、これらの状況を踏まえ、計画の改定を行う。	委員会	H30年7月～ H31年3月	学識経験者、市民委員など計23名の委員で構成。計6回の委員会及び部会を開催。	まちづくり政策局 総合交通計画部 交通計画課 011-211-2275
		ワークショップ	H30年11月3日	無作為抽出により案内を送付し、34名が参	
http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/shisaku/sogokotsukeikaku/kaitei/index.html					
丘珠空港の利活用検討	H29年度に公表した「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書の内容を各種媒体・説明会や懇談会を利用し、分かり易く市民や各種団体等に情報提供した上で、市民・有識者・関係者で構成する利活用の検討を行う「関係者会議」や、市民及び利用者ニーズを把握するための「アンケート」等の実施により、市民や各種団体、有識者等の幅広い意見を取り込んだ、札幌丘珠空港の利活用のあり方を検討した。	住民説明会及び意見交換会	H30年9月～ H30年11月	丘珠空港周辺の9連合町内会の地域単位で実施。	まちづくり政策局 総合交通計画部 空港担当課 011-211-2378
		懇談会	H30年6月～ H30年8月	5回実施(勉強会・出前講座の一部としての説明)。	
		関係者会議	H30年10月～ H31年3月	丘珠空港利活用検討関係者会議を3回開催。	
		市民アンケート	H30年11月～ H30年12月	札幌市内の18歳以上の男女10,000人を無作為抽出により実施。	
http://www.city.sapporo.jp/shimin/okadama/rikatsuyo/rikatsuvokento.html					
都心アクセス強化 (創成川通の機能強化)	道内の各地域や空港・港湾等の交通拠点と都心とのアクセスを強化し、北海道新幹線札幌延伸とも連携した広域的な交通ネットワークを形成するため、国等の関係機関と連携しながら、都心と高速道路を結ぶ創成川通(国道5号)の機能強化について検討を行っている。現在の検討状況等について市民との情報共有を図るため、オープンハウス及びパネル展を実施。	オープンハウス	H30年11月18日～ H30年12月8日	4会場、計8日間開催。来場者約450名。	まちづくり政策局 総合交通計画部 交通計画課 011-211-2275
		パネル展	H30年10月26日～ H30年12月7日	6会場、計29日間開催。	
http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/toshin-access/					
北海道新幹線推進事業	北海道新幹線推進事業では、業務委託等を活用し、札幌早期開業への機運醸成や北海道新幹線の効果・利便性などの情報発信を目的とする啓発・PR、新函館北斗開業の効果拡大に向けた啓発・PRを行っている。 この中で、札幌延伸の認知度の確認や期待度の向上を目指し、市民等を対象としたアンケート調査を行った。	アンケート	H30年7月、 H30年9月、 H30年11月、 H31年3月	「まなぶんサマースクール(子ども向け)」、「さっぽろオータムフェスト」、「食旅フェスタin仙台」、「ホワイトスクール(子ども向け)」において、合計760件のアンケートを回収した。	まちづくり政策局 新幹線推進室 011-211-2378
北海道新幹線推進事業	北海道新幹線推進事業では、業務委託等を活用し、札幌早期開業への機運醸成や北海道新幹線の効果・利便性などの情報発信を目的とする啓発・PR、新函館北斗開業の効果拡大に向けた啓発・PRを行っている。 この中で、札幌市在住の小学生を対象に、「みんなで新幹線を描こう! 絵画コンクール」を実施し、応募者の中から、最優秀賞を受賞した3名を東北ツアーに招待する「まなぶん 新幹線わくわくツアーin 東北」を実施した。	絵画募集	H30年7月～ H30年9月	絵画コンクールは、38名42作品の応募。ツアーには小学生3名参加。	まちづくり政策局 新幹線推進室 011-211-2378
		ツアー参加	H30年10月		

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
札幌市立高等学校進路探究学習推進事業	札幌市立高等学校進路探究学習推進事業(進路探究学習推進委員会主催「職場体験学習」)として、札幌市の財政を題材とした体験授業を実施。	体験事業	H30年9月	1回実施(2回の予定だったが、地震により1回中止となった)。11人を受入れ。	財政局 財政部 企画調査課 011-211-2216
さっぽろ自転車押し歩き キャンペーン	平成27年度より運用を開始した「自転車押し歩き地区」において、平成30年度も啓発員による自転車の押し歩きの呼びかけを行うキャンペーンを行い、市民の自転車利用のルール・マナーの向上に努める。 http://www.city.sapporo.jp/kotsuanzen/cycle/cycle.html	自転車押し歩きの呼びかけ	H30年4月中旬 ～H30年9月末	期間中は週3～4日間実施。	市民文化局 地域振興部 区政課 011-211-2252
札幌市犯罪のない安全 で安心なまちづくり等基 本計画	平成21年4月に施行した「札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等に関する条例」に基づき、今後5年間における防犯活動への支援や犯罪の被害に遭う市民を減らすための基本計画を策定する。 http://www.city.sapporo.jp/shimin/chiiki-bohan/kihonkeikaku/dainiikihonkeikaku-pabcome.html	アンケート	H31年2月	市民350件、団体148件の回答があった。	市民文化局 地域振興部 区政課 011-211-2252
(仮称)中央区複合庁舎 整備基本計画	老朽化や耐震性能などの課題解消に向けて建替えを行う中央区役所について、広く市民からの意見を募集し、施設整備等を進める上での指針となる基本計画の策定するため、パブリックコメントを実施した。 http://www.city.sapporo.jp/shimin/shisetsu/chuo/kihonkeikaku.html	パブリックコメント	H31年2月～ H31年3月	10人1団体から計20件の意見があった。	市民文化局 地域振興部 区政課 (区役所整備担当) 011-211-2176
市民自治を考える市民 ワークショップ	札幌市の市民自治のあり方や市民自治推進のための方策等について、市民の意見を広く聴くため、市民によるワークショップを開催した。 http://www.city.sapporo.jp/shimin/iichi/gugenka/hvoukakaigi/top.html	ワークショップ	H31年2月23日	参加希望者から抽選で33名を選出し、ワークショップを実施(当日参加者27名)。	市民文化局 市民自治推進室 市民自治推進課 011-211-2253
町内会活動総合支援事 業	町内会活動を多面的かつ継続的に支援するため、メディアを活用した加入啓発や不動産関連団体などの連携に取り組むほか、町内会自らが行う加入促進などに対する取組などを支援する。	パネル展	H30年7月～ H30年10月	地域の夏まつりなど全10箇所において、町内会加入促進啓発ブースを実施。	市民文化局 市民自治推進室 市民自治推進課 011-211-2253
		アンケート	H31年2月～3月	地下歩行空間等において、町内会に関するアンケートを4回実施。	
まちづくりセンター地域 自主運営化推進事業	地域が創意工夫を生かし、主体的にまちづくりを行うことができるよう、まちづくりセンターの地域自主運営化を進める。 http://www.city.sapporo.jp/shimin/iichi/gugenka/iisyu/top.html	業務委託	H30年4月～ H31年3月	8団体に対し、業務委託を実施。	市民文化局 市民自治推進室 市民自治推進課 011-211-2253
次世代の活動の担い手 育成事業	世代に応じた効果的な啓発・体験により、まちづくりへの意識醸成を図り、将来の地域活動の担い手育成につなげる。	体験事業	H30年7月～ H31年3月	各世代に応じてイベントを実施した結果、小学生から大学生・若者まで500名程度の参加があった。	市民文化局 市民自治推進室 市民自治推進課 011-211-2253
		意見交換会			
		市民スタッフ			
		実行委員会			
地域コミュニティ活性化 推進事業	子育て世代などの若い世代を効果的に巻き込んでいる町内会は、札幌市に複数あることから、その手法等について町内会役員等を対象とした見学会を実施し、それらの結果を地域に対しフィードバックする取組を行う。	ワークショップ	H30年10月8日	町内会関係者10名が参加。	市民文化局 市民自治推進室 市民自治推進課 011-211-2253
		実践体験	H30年10月～ H30年11月	3地域にて、合計9名が参加。	
		ワークショップ	H30年11月25日	町内会関係者10名が参加。	

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
地域マネジメント推進事業	地域(まちづくりセンター区域を基本とした連合町内会やまちづくり協議会等)で共有された将来の展望とその実現に向けた活動指針「地域まちづくりビジョン」を策定するための勉強会やワークショップ開催支援を行う。	勉強会	H30年9月～ H30年12月	1地域において、勉強会＋ワークショップ実施に向けた支援をするも、地域の都合により開催まで至らず。	市民文化局 市民自治推進室 市民自治推進課 011-211-2253
		ワークショップ	H30年10月～ H31年1月		
市民まちづくり活動促進テーブル	市民まちづくり活動の促進に関し必要な事項について調査審議等を行った。	本部委員会	H30年5月18日、 H30年9月25日	委員10名により2回実施。市民まちづくり活動促進基本計画の見直しに係る審議等を行った。	市民文化局 市民自治推進室 市民活動促進担当課 011-211-2964
		事業検討部会	H30年7月24日、 H30年8月8日、 H30年9月18日	委員5名により3回実施。市民まちづくり活動促進基本計画の見直しに係る審議等を行った。	
		審査部会	毎月10日～20日の間に実施×12回	さぼーとほっと基金助成金交付申請について、委員5名により、書面により12回、審査を実施した。(団体指定助成)	
http://www.city.sapporo.jp/shimin/support/iyorei/table/t01_top.html			H30年4月14日、 H30年7月16日、 H30年10月20日	さぼーとほっと基金助成金交付申請について、委員5名により、プレゼン審査を実施した。(前期公募、後期公募、北海道胆振東部地震被災者支援活動基金助成事業公募)	
地域まちづくり人材育成事業	地域課題の解決に必要なスキルを持った人材等を育成するため、セミナーやワークショップ等を実施した。	セミナー	H30年10月14日	多くの市民に、まちづくり活動に関わるきっかけとなるよう、様々な団体の活動紹介等を行った。	市民文化局 市民自治推進室 市民活動促進担当課 011-211-2964
		ワークショップ	H30年11月4日、 H30年11月11日、 H30年12月15日	まちづくり活動の企画から実践までを体験するためのワークショップ等を行った。	
		講座	H30年11月18日、 H30年12月16日、 H31年1月20日、 H31年2月9日、 H31年3月3日	地域課題の解決に必要なスキルをもった人材を育成するための講座および体験派遣を行った。	
		報告会	H31年3月16日	当該事業の全体報告会を行った。	
http://www.city.sapporo.jp/shimin/support/2018-1ijnzai.html					
第3期札幌市市民まちづくり活動促進基本計画	めまぐるしく変わる社会状況や、多様化するまちづくり活動の動向に応じ、第2次基本計画の重点施策等の見直しについて検討を行い、効果的に本市施策を推進するための次期基本計画を策定する。	アンケート	H30年6月20日～ H30年7月4日	市内の市民まちづくり活動団体の中から、無作為に抽出した2,000団体にアンケートを送付。	市民文化局 市民自治推進室 市民活動促進担当課 011-211-2964
		市民ワークショップ	H30年7月13日	等間隔無作為抽出により案内文を送付し、申込のあった30名が参加。	
		まちづくり活動団体ワークショップ	H30年7月23日	上記アンケートに案内文を同封し、申込のあった団体の中から抽選で参加者を選定。54名が参加。	
		パブリックコメント	H31年2月28日～ H31年3月29日	5名・18件のご意見が寄せられた。	
http://www.city.sapporo.jp/shimin/support/iyorei/keikaku3rd.html					
第3次札幌市消費者基本計画	第3次札幌市消費者基本計画の実施報告等を行う。	審議会	H30年8月、 H31年3月	計2回実施。	市民文化局 市民生活部 消費生活課 011-211-2245
http://www.city.sapporo.jp/shohi/sesaku/plan.html					
市民参加型アイヌアートモニュメント設置事業	市民がアイヌ文化に身近に触れる機会を創出するため、アイヌアートモニュメントを市民とアイヌが共同で制作し、市内各所(駅、区役所、学校等を想定)に設置する。	共同制作	H31年2月～ H31年3月	広報誌等にて参加者を募り、参加市民16名とアイヌ作家4名の共同制作により、タペストリー制作を実施した。完成したタペストリー(4枚)を、チ・カ・ホに設置予定(平成31年4月)。	市民文化局 市民生活部 アイヌ施策課 011-211-2277
http://www.city.sapporo.jp/shimin/ainushisaku/shisaku/shiminsanaka-ainu-art-monument.html					
男女共同参画さっぽろプラン	平成29年度における男女共同参画に関する施策の実施状況や、現行の第4次男女共同参画さっぽろプランの実施報告等を実施した。	審議会	H30年11月7日、 H31年3月18日	計2回実施。	市民文化局 男女共同参画室 男女共同参画課 011-211-2962
http://www.city.sapporo.jp/shimin/danio/sankaku/keikaku/index.html					

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
性的マイノリティ支援事業	性的マイノリティに関する正しい知識を普及啓発することで、理解促進を図った。	講演会	H31年3月7日	参加者(101名)の95%が性的マイノリティに対して「理解が深まった」「やや深まった」と回答。	市民文化局 男女共同参画室 男女共同参画課 011-211-2962
http://www.city.sapporo.jp/shimin/danio/lgbt/index.html					
さっぽろ女性活躍・働き方改革応援事業	女性の働きやすい環境づくりに向け、札幌市の女性を取り巻く実情やニーズ、様々な活躍の形を共有することに加え、女性に限らず男性や企業の方にとって、課題解決の方向性や方策を見出す場として、関係する官民が連携し、立場の異なる多様な市民が参加するフォーラム等を開催する。	若者と考える女性活躍クロストーク	H30年7月19日	実践者:6名、学生:6名が参加。	市民文化局 男女共同参画室 男女共同参画課 011-211-2962
		SAPPOROライブデザインカフェ	H30年9月～ H30年10月	計6回実施。(高校生向け:14名、大学生向け:31名、若手社員向け:47名、子育て世代向け:27名)	
		さっぽろ女性応援 festa	H30年11月22日～ H30年11月23日	2日間で延べ293名が参加。	
		女性の活躍に向けた意見交換会	H30年12月12日	参加者:10名、オブザーバー:5名が参加。	
札幌市文化芸術基本計画	文化芸術に関する施策に関する基本的な計画(以下「基本計画」という。)の策定に当たり、市民、芸術家等、文化芸術活動を行う団体等と意見交換を行った。	会議	H30年7月、 H30年8月、 H30年10月、 H30年11月、 H30年12月	公募による市民委員2名を含む9名の「文化芸術基本計画検討委員会」を5回開催。	市民文化局 文化部 文化振興課 011-211-2261
http://www.city.sapporo.jp/shimin/bunka/entaku/index.html					
サッポロ・シティ・ジャズのボランティアスタッフ「JAZZ SAVERS」	サッポロ・シティ・ジャズの「ミュージックテントライブ」、「パークジャズライブ」などで、受付補助、案内、仕込み・片づけ、チラシ折込、清掃、写真撮影などの業務を担うボランティアスタッフを市民から募集し、事業運営に参加した。	市民スタッフ	H30年5月～ H30年8月、 H30年12月	H30年度においては、約150人が参加。	市民文化局 文化部 文化振興課 011-211-2261
http://sapporocityjazz.jp/					
札幌市歴史文化基本構想	令和元年度の構想策定に向け広く市民公募委員を含む策定委員会を開催したほか、市民参加を図り構想に反映させるため、市民ワークショップやシンポジウムを開催した。	策定委員会	H30年6月、 H30年8月、 H30年11月、 H31年3月	4回開催。公募委員2名を含む14名の委員で札幌市歴史文化基本構想の策定にむけ、意見交換を行った。	市民文化局 文化部 文化財課 011-211-2312
		ワークショップ	H30年8月、 H30年10月	第1回8/25(参加者34名)、第2回10/14(参加者29名)の2回連続講座「れきふんワークショップ」を開催。9月に現地調査を実施。札幌の歴史や文化を学び、地域の文化財を調査するなどして地域の歴史文化の特徴を見出した。	
		市民アンケート	H30年8月～ H30年9月	地域の文化財(お宝)を広く収集するため、市民アンケート及び連合町内会アンケートを実施した(市民アンケート回答555件、連町アンケート回答37件)。	
		シンポジウム	H30年11月23日	H30年11月23日「さっぽろれきふんフェス」を開催し講演、パネルディスカッション、展示等を行った(約1,500名参加)。	
http://www.city.sapporo.jp/shimin/bunkazai/rekisitekisan.html					
市民運動広場整備事業	具体的な施工を見据え、詳細検討を行った結果、様々な課題が判明したため、一時事業をとめて、改めて専門家の意見を伺いながら、今後取るべき方策を再度慎重に検討した。	専門家委員会	H30年6月～ H30年10月	専門家委員会を3回開催。	スポーツ局 スポーツ部 企画事業課 011-211-3044
札幌市スポーツ推進計画	平成26年2月に策定した札幌市スポーツ推進計画(計画年度H25～H34)について、計画の進捗状況や国のスポーツ施策の動向などを踏まえながら中間の見直しを行った。	審議会	H30年7月～ H31年10月	審議会を3回開催。	スポーツ局 スポーツ部 企画事業課 011-211-3044
		ワークショップ	H30年7月22日	無作為抽出により案内を送付し、34名参加。	
		パブリックコメント	H31年3月18日～ H30年4月16日	6人から19件の意見が寄せられた。	
http://www.city.sapporo.jp/sports/vision/					

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
(仮称)札幌市スポーツ施設配置・活用計画	施設の更新需要の集中や、市民ニーズの多様化、大規模スポーツ大会の招致などに対応しながら、スポーツ施設を有効に活用していくため、配置、活用に係る計画の策定を行った。	専門家委員会	H30年7月～ H31年2月	専門家委員会を6回開催。	スポーツ局 スポーツ部 企画事業課 011-211-3044
		ワークショップ	H30年7月22日	無作為抽出により案内を送付し、34名参加。	
冬季オリンピック・パラリンピック招致に係る取り組み	冬季オリンピック・パラリンピック招致に向けて、開催概要計画を周知し、市民議論を深める機会を設けるとともに、招致気運の醸成を図ることを目的として、市民アンケート等を実施する。	虹と雪のパレードアレンジコンテスト	H30年9月～ H31年3月	審査会を経て最優秀賞受賞者を決定、31年3月に授賞式を開催。	スポーツ局 招致推進部 調整課 011-211-3042
さっぽろラグビーフェスティバルwithスポカル	札幌ドームで初めてとなるラグビーの試合「明治大学対帝京大学」と、様々なスポーツと文化を無料で体験できるイベント「スポカル」を同時開催した。	市民スタッフ	H30年4月30日	スポーツボランティア「スマイル・サポーターズ」70名が当日ボランティアとして従事。	スポーツ局 国際大会担当部 ラグビーワールドカップ担当課 011-211-3006
http://www.city.sapporo.jp/sports/rugby/170330.html					
札幌市地域福祉社会計画審議会	地域福祉社会計画2018についての審議を行う。	委員公募	H31年1月25日～ H31年2月20日	左記の期間で公募を実施した。15名の応募があり、うち2名を市民公募委員として委嘱した。	保健福祉局 総務部 総務課 011-211-2932
http://www.city.sapporo.jp/chiikifukushi/keikaku/					
札幌市高齢者支援計画	第7期計画の進捗管理。 2021年度を始期とする新たな計画を策定に向けた検討。	委員会	H30年9月	会議を2回開催。	保健福祉局 高齢保健福祉部 介護保険課 011-211-2547
http://www.city.sapporo.jp/kaigo/k500plan/k-570inkai.html					
札幌市自殺総合対策行動計画2019	2019年度を始期とする新たな自殺総合対策行動計画を策定した。	意見交換会	H30年11月	開催1回、参加者17名。	保健福祉局 障がい保健福祉部 精神保健福祉センター 011-622-5190
		パブリックコメント	H30年12月～ H31年1月	意見提出者6名、意見数12件。	
http://www.city.sapporo.jp/eisei/gyomu/seisin/knows/taisaku/index.html					
とくとく健診PRポスター 図案募集	とくとく健診を市民にPRするため、わかりやすく親しみやすい図案を市民公募する。	公募	H31年2月～ H31年4月	デザイン関係の専門学校、高校、また、中学生から多数の応募があった中からデザインを選定、特定健診実施医療機関や地下鉄の掲示板、市内の銭湯、コープさっぽろに掲示した。また、優秀者への表彰式を行なった。	保健福祉局 保険医療部 国保健康推進担当課 011-211-2887
http://www.city.sapporo.jp/hoken-iryo/kokuho/tokuken.html					
国民健康保険運営協議会	国民健康保険法第11条に基づく必置機関であり、国保事業の運営に関する事項の審議等を行う。	協議会	H30年6月～ H31年3月	年2回実施(7月、1月)。札幌市国民健康保険会計予算、決算について審議した。	保健福祉局 保険医療部 保険企画課 011-211-2944
http://www.city.sapporo.jp/hoken-iryo/kokuho/unkyou.html					
健康なまちづくりフォーラム	健康づくりに取り組む市民が一堂に会し、講演や各区の実践報告を通して住民主体の健康づくり活動の継続と活性化を目指す。	フォーラム	H30年12月15日	アンケート回収数:267名。	保健福祉局 保健所 健康企画課 011-622-5151
http://www.city.sapporo.jp/eisei/kenkozukuri/walking/kenkoumatidukuri.html					

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
健康さっぽろ21(第二次)中間評価	札幌市健康づくり基本計画「健康さっぽろ21(第二次)」の中間評価を行う。	中間評価委員会	H30年6月26日、 H30年8月21日	中間評価委員会を2回実施。	保健福祉局 保健所 健康企画課 011-622-5151
		健康づくり推進協議会	H30年10月2日	健康づくり推進協議会を1回実施、中間評価報告書の素案を策定。	
http://www.city.sapporo.jp/eisei/kenkozukuri/gantaisakubukai/tyuukan1.html					
札幌市食育推進計画	平成30年3月に策定した第3次計画の推進のため、市民公募委員会を含む審議会(札幌市食育推進会議)の意見を反映させ、進捗管理を行う。	札幌市食育推進会議	H30年8月3日	札幌市食育推進会議を1回開催。	保健福祉局 保健所 健康企画課 011-622-5151
http://www.city.sapporo.jp/hokenio/syokuiku/dai3zikeikaku.html					
平成31年度札幌市食品衛生監視指導計画	保健所が行う食品関係施設に対する監視指導や市民への啓発事業などの実施に関する計画	パブリックコメント	H31年1月30日～ H31年2月28日	9名から14件の意見があった。	保健福祉局 保健所 食の安全推進課 011-622-5174
http://www.city.sapporo.jp/hokenio/shoku/kanshiplan/index.html					
安全・安心な食のまち・さっぽろ推進会議	「札幌市安全・安心な食のまち推進条例」に基づき、市民公募委員会を含む安全・安心な食のまち・さっぽろ推進会議において、平成27年3月に策定された計画について調査審議を行う。	安全・安心な食のまち・さっぽろ推進会議	H30年7月31日	市民委員2名が参加。	保健福祉局 保健所 食の安全推進課 011-622-5174
			H31年2月27日		
http://www.city.sapporo.jp/hokenio/shoku/					
さっぽろ食の安全・安心モニター事業	市内の食品取扱施設について、食品の表示、施設の衛生状況等を調査する。	モニター	H30年4月～ H31年3月	30名が参加し、延べ357施設を調査。	保健福祉局 保健所 食の安全推進課 011-622-5174
http://www.city.sapporo.jp/hokenio/shoku/shokumachi/monitor/kekka.html					
食のまち・さっぽろフェスト	食の安全・安心について市民へ広く普及啓発するためのイベントを開催する。	イベント参加	H31年1月26日～ H31年1月27日	札幌駅前通地下歩行空間(北3条交差点広場、札幌駅側スペース、憩いの空間)にて実施、延べ55,000人が参加。	保健福祉局 保健所 食の安全推進課 011-622-5174
http://www.city.sapporo.jp/hokenio/shoku/event/29shokumachifest-kaisai.html					
さっぽろ食の安全・安心市民交流事業	事業者・生産者と市民の相互理解を図り、また、市民が食の安全について正しい知識と理解を深め、さらに食に対する信頼感を持ってもらうため、生産地や生産工場を見学する。	交流事業	H30年9月25日	石屋製菓(株)北広島工場で実施、15名参加。	保健福祉局 保健所 食の安全推進課 011-622-5174
			H31年2月27日	福山醸造(株)で実施。29名参加。	
http://www.city.sapporo.jp/hokenio/shoku/shokumachi/korvuiigyo/					
さっぽろ子ども食品Gメン体験事業	小学3～6年生の親子を対象に、行政や事業者の食の安全確保への取組にかかる正しい知識の習得等を目的として、食品衛生監視員の業務を体験・学習するもの。	体験事業	H30年7月26日	中央卸売市場で実施。15組30名参加。	保健福祉局 保健所 食の安全推進課 011-622-5174
			H31年1月16日	コープさっぽろ二十四軒店で実施。9組18名参加。	
http://www.city.sapporo.jp/hokenio/shoku/shokumachi/korvuiigyo/					
さっぽろ医療計画評価委員会	さっぽろ医療計画の進捗状況を確認し、評価を行う。	委員会	H31年3月7日	さっぽろ医療計画評価委員会を1回開催。	保健福祉局 保健所 医療政策課 011-622-5162
http://www.city.sapporo.jp/eisei/tiiki/iryuoplan/second/index.html					

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
札幌市斎場等あり方検討委員会	少子・高齢化や核家族化の進展など社会状況が変化している中で、安定的な斎場(火葬場)や墓地の運営を実現するため、斎場や墓地のあるべき姿等を検討する。	市民委員公募	H30年5月	市民委員2名が参加。	保健福祉局 保健所 生活環境課 011-622-5182
		委員会	H30年9月		
		委員会	H30年12月		
		委員会	H31年3月		
http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/botikeiei/arikatakentou.html					
札幌市営斎場・霊園利用者アンケート調査業務	少子・高齢化や核家族化の進展など社会状況が変化している中で、安定的な斎場(火葬場)や墓地の運営を実現するため、斎場や墓地のあるべき姿等を検討するにあたり、その基礎資料とするため、札幌市の斎場と霊園の利用者に対するアンケート調査を行い、市民ニーズを把握する。	アンケート	H30年11月	斎場利用者500名にアンケートを行い、224名から回答があった。墓地利用者500名にアンケートを行い、281名から回答があった。	保健福祉局 保健所 生活環境課 011-622-5182
札幌市災害時動物救護ボランティア	札幌市域で札幌市域において大規模な災害が発生した際に、動物救護活動にボランティアで参加した。	被災者支援	H30年9月	被災者の飼い犬の預かりを1件実施した。	保健福祉局 保健所 動物管理センター 011-736-6134
		講習会	H31年3月13日	27人参加(外部講師1人を含む)。平成30年北海道胆振東部地震発生時における厚真町等でのペット救護活動について講演いただいた。	
http://www.city.sapporo.jp/inuneko/main/suisinin.html					
動物愛護管理推進協議会	「札幌市動物の愛護及び管理に関する条例」に基づき、市民公募委員を含めて設置された、市長の附属機関。動物の愛護及び管理に関する重要事項を調査審議する。	会議	H31年2月28日	委員14人中11人出席。札幌市動物愛護推進計画の進捗状況について審議され、飼い主のいない猫への対応が重点課題とされ、今後、ガイドラインを作成することとなった。	保健福祉局 保健所 動物管理センター 011-736-6134
http://www.city.sapporo.jp/inuneko/main/kyougikai.html					
札幌市動物愛護推進員	「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき募集している、札幌市の動物愛護及び適正飼育推進のため、積極的・自主的な活動をしていただくボランティア制度。	どうぶつあいご教室補助	H30年6月～ H30年12月	全22か所の保育園等で実施し、延べ959人(園児857人、職員102人)が聴講。教室の開催にあたり、動物愛護推進員延べ26人の協力を得た。	保健福祉局 保健所 動物管理センター 011-736-6134
		土曜開庁補助	H30年4月～ H30年11月	期間中の第2、第4土曜日計15回開催。延べ518人の譲渡希望者が来庁し、40頭の動物が譲渡された。譲渡会の開催にあたり、動物愛護推進員延べ約60人の協力を得た。	
http://www.city.sapporo.jp/inuneko/main/suisinin.html					
札幌市子ども・子育て会議	札幌市における子ども施策の推進に必要な事項等について協議する。	会議	H30年8月29日、 H31年3月14日	札幌市子ども・子育て会議を2回開催。	子ども未来局 子ども育成部 子ども企画課 011-211-2982
http://www.city.sapporo.jp/kodomo/jisedai/kosodatekaigi.html					
新・さっぽろ子ども未来プラン	子どもの権利の推進と子どもの育ちや子育てを総合的に支援する計画「新・さっぽろ子ども未来プラン」の計画期間が平成31年度で終了するため、次期計画(令和2～6年度)の策定に向けた検討を行う。	会議	H30年8月29日、 H31年3月14日	札幌市子ども・子育て会議を2回開催。	子ども未来局 子ども育成部 子ども企画課 011-211-2982
		ニーズ調査	H30年12月7日～ H31年1月4日	15,000人に送付し、6,116件回収(回収率40.8%)。	
		グループヒアリング	H31年2月	4回実施。保護者49名、子育て支援者15名参加。	
http://www.city.sapporo.jp/kodomo/jisedai/kodomokeikaku.html					
子ども議会	小学4年生から高校生3までの子どもが市政について学び、よりよくするための方法等を考え、本会議で市長等に提案する。子ども議員が提案をまとめる際、学生サポーターが支援する。	委員会活動	H30年10月～ H30年12月	5回開催し、延べ295人参加(事業参加者:子ども議員51名、サポーター7名)。	子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課 011-211-2942
		本会議	H30年12月27日	4つの委員会が市への提案を行った。50名参加(子ども議員46名、サポーター4名)。	
http://www.city.sapporo.jp/kodomo/kenri/katsudo.html					
シンガポール少年少女交流事業	市内の中学2年生(受入時は中学3年生)を対象とし、ホームステイを基本に、相互に派遣と受入を行い、中学校体験入学や市内視察等のプログラムを実施する。今年度はシンガポール共和国の交流団を受け入れる。	研修でのワークショップ	H30年4月～ H30年5月	2回実施し、延べ23人参加(事業参加者14名が対象)。	子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課 011-211-2942
		アンケート	H30年6月	参加者14名に実施。	
http://www.city.sapporo.jp/kodomo/ikusei/101_2.html					

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
姉妹都市少年交流事業	市内の中学生・高校生を対象とし、ホームステイを基本に、相互に派遣と受入を行い、各都市の伝統・生活文化、まちの特徴を学ぶ各種プログラムを実施する。今年度はロシア連邦ノシビルスク市へ派遣する。	研修でのワークショップ	H30年5月～ H30年8月	計4回実施し、延べ40名が参加した。	子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課 011-211-2942
		アンケート	H30年8月	参加者10名に対し実施。	
http://www.city.sapporo.jp/kodomo/ikusei/l01_2.html					
子どもの権利委員会	子どもの最善の利益を実現するための権利条例に基づき、子どもの権利に関する施策の検証及び子どもの権利に関する推進計画について意見交換を行う。	委員会	年3回程度	委員会3回実施。	子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課 011-211-2942
http://www.city.sapporo.jp/kodomo/kenri/kenriinkai.html					
ひきこもり対策推進事業 (ひきこもり実態調査)	平成23年に本市が実施した「若者の意識に関する調査」、平成28年に内閣府が実施した「若者の生活に関する調査」を踏まえ、本市におけるひきこもりの実態を把握し、課題への対応策検討の基礎資料とする。	アンケート	H30年7月～ H30年9月	札幌市在住の15歳以上64歳以下の方10,000名に対し実施。 ひきこもり当事者又はその家族137名に対し実施。 民生委員・児童委員2,640名に対し実施。	子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課 011-211-2942
さっぽろ市民子育て支援宣言	これから親になる人や子育て中の親子に対し、市民一人ひとりが支援する気持ちを、言葉と行動で表すことを宣言・実行する取組。	個人または団体・企業での宣言	通年	さっぽろ市民子育て支援宣言数 個人宣言 56,466人 団体 221団体28,642人 企業 95企業20,172人 総人数 105, 280人	子ども未来局 子育て支援部 子育て支援総合センター 011-208-7961
http://www.city.sapporo.jp/kodomo/sengen/gaivo/index.html					
札幌市子育て支援推進ネットワーク協議会	子育てに関する関係機関・団体が情報の共有化と協力体制を築き、子育て支援を推進する。	協議会会議	H30年8月 H31年2月	12人出席。 11人出席。	子ども未来局 子育て支援部 子育て支援総合センター 011-208-7961
里親制度普及啓発事業	家庭に恵まれない子どもたちを温かな雰囲気をもって受け入れている里親制度について、社会的養護の現状や里親養育体験発表等を通じて多くの市民にPRし、里親登録希望者の裾野を広げると同時に、地域での関心と理解を深める。	フォーラム	H30年10月23日	札幌市教育文化会館で開催(1回)。117人が参加。	子ども未来局 児童相談所 相談判定一課 011-622-8630
札幌市児童会館条例の改正	羊丘小学校と複合化した児童会館の新設に伴い、札幌市児童会館条例に新しい児童会館の名称決定にあたり、主たる利用者である羊丘小学校の全児童にアンケート調査を実施し、実施結果を踏まえて名称を決定した。	アンケート	H30年9月4日～ H30年9月14日	回収数:357票 【内訳】 札幌市羊丘児童会館 181票 札幌市東月寒みどり児童会館 56票 札幌市羊丘ハリギリ児童会館 45票 その他 64票 無回答 11票	子ども未来局 子ども育成部 子ども企画課 011-211-2989
ものづくり学校祭2018	札幌市内企業の魅力や、ものづくりの面白さを伝えることで、ものづくり産業の認知度向上、ひいては将来的な地元企業への就職促進につなげていくことを目的として、市内ものづくり関連企業の製品・技術や大学・専門学校の取組みを、体験型の展示イベントを通して高校生に見せる「ものづくり学校祭2018」を開催した。	体験事業	H30年9月12日～ H30年9月13日	9月12日(水)10:30～16:00、9月13日(木)10:30～18:00の2日間、アクセスサッポロにて開催。震災の影響で出展者、高校生ともに当初予定より減となったものの、17企業・団体が出展、3,863名(2日間計)の高校生が参加した。	経済観光局 産業振興部 立地促進・ものづくり産業課 011-211-2362
http://www.city.sapporo.jp/keizai/monodukuri/monodukurischoolfestival.html					
ものづくりKids拠点 (まこまないベース)	市内ものづくり企業への将来的な入職促進を目的に、小学生を主対象としたものづくりを「見て」、「触れて」、「学べる」拠点を構築した。	体験事業	H30年7月～ H31年3月	長期休暇を中心に41日間開館し、子どものみで711名の利用があったほか、イベントについても市立大学や地域振興課など他団体との連携による開催事例も創出された。	経済観光局 産業振興部 立地促進・ものづくり産業課 011-211-2362
http://www.city.sapporo.jp/keizai/kids/kids_kyoten.html					

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
市立高校生と在札留学生との交流会	国際感覚豊かな人材育成を目的に、市立高校生を対象として、異文化に接する機会の創出のため、在札留学生との交流会を実施した。	交流会	H30年11月4日	市立高校生12名、在札留学生12名が参加。	経済観光局 国際経済戦略室 経済戦略推進課 011-211-2481
http://www.city.sapporo.jp/keizai/tradeinfo/jinzai/koryukai.html					
SAPPOROおみやげパワーアップフェアin北大	外国人観光客向けお土産品開発に取り組む企業支援の一環で、北海道大学・北洋銀行と連携し、外国人留学生等への新商品アンケートイベント(新商品の試食・体験会)を実施した。	交流会・アンケート	H30年11月28日	札幌在住の留学生等外国人が51名参加。市内企業は6社参加。	経済観光局 国際経済戦略室 経済戦略推進課 011-211-2481
http://www.city.sapporo.jp/keizai/tradeinfo/kankoshozai.html					
さっぽろスイーツ2019コンペティション市民アイデア募集	その年の顔となるスイーツを決定する、「さっぽろスイーツ」のコンペティションに向けて、そのもととなるアイデアを市民から募集した。	アイデア募集	H30年8月20日～ H30年10月20日	応募件数:319件	経済観光局 国際経済戦略室 食・健康医療産業担当課 011-211-2392
http://www.city.sapporo.jp/keizai/top/topics/sapporosweets.html					
さっぽろスイーツ2019コンペティション市民審査員	その年の顔となるスイーツを決定する、「さっぽろスイーツ」のコンペティションにおける審査会を実施した。	市民審査員としての審査会への参加	H31年2月18日	募集期間:H31年1月25日～H31年2月5日 市民審査員:8名参加	経済観光局 国際経済戦略室 食・健康医療産業担当課 011-211-2392
http://www.city.sapporo.jp/keizai/top/topics/sapporosweets.html					
映像コンテストの実施	これまで以上に札幌の魅力を発信し、国内外からロケーション撮影をさらに呼び込むことを目的として、柔軟な発想やアイデアを持つ学生を対象に、新たなロケ地となり得る場所や施設等を発掘する映像コンテストを開催した。	作品募集	H30年7月～ H30年11月	8名8作品の応募があった。	経済観光局 国際経済戦略室 IT・クリエイティブ産業担当課 011-211-2379
http://www.city.sapporo.jp/keizai/tokku/30eizokontesuto.html					
ボランティアエキストラ登録制度の運用	市民がまちの魅力を再発見するため、エキストラ登録制度を活用し、市民の映像制作への参加を促した。	ロケーション撮影への参加	H30年4月～ H31年3月	新たに1,232名がボランティアエキストラに登録。札幌市内で行われたロケーション撮影に、ボランティアエキストラとして750名ほどが参加。	経済観光局 国際経済戦略室 IT・クリエイティブ産業担当課 011-211-2379
http://www.screensapporo.jp/volunteer/					
第3回北のまんが大賞の開催	北海道と連携(共催)して、北海道を素材とした未発表のオリジナルまんが作品を広く募集するコンテストを実施した。	作品募集	H30年5月～ H30年9月	116作品の応募があった。	経済観光局 国際経済戦略室 IT・クリエイティブ産業担当課 011-211-2379
https://www.akarenga-h.jp/manga/contest/					
(仮称)新MICE施設整備基本計画	(仮称)新MICE施設整備基本計画の策定に向け、パブリックコメントを実施した。	パブリックコメント	H30年3月～ H30年4月	意見提出者6名、意見件数36件	経済観光局 観光・MICE推進部 観光・MICE推進課 011-211-2376
http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/miceshsetsu.html					
第2次さっぽろ都市農業ビジョン推進懇話会	第2次さっぽろ都市農業ビジョンの進行管理のため、毎年度末に施策実施による成果の達成状況を報告し、次年度の施策の推進や改善に反映させるため意見交換を行った。	懇話会	H31年3月19日	さっぽろ都市農業ビジョン推進懇話会(出席者は懇話会委員9名ほか全17名)を開催。	経済観光局 農政部 農政課 011-211-2406

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
人・農地プラン検討会	人・農地プランの見直しに当たり、プランの(案)について農業者及び専門家等からご意見等をいただいた。	懇話会	H31年3月20日	平成30年度人農地プラン(案)について地域の中心となる経営体の追加及び削除等について了承をいただいた。	経済観光局 農政部 農政課 011-211-2406
https://www.city.sapporo.jp/keizai/nogvo/keiseienn/plan.html					
人・農地プランに係るセミナー・ワークショップ	人・農地プラン見直しにあたり地域農業者と農業関係機関が集い意見交換を行った。	ワークショップ	H31年1月28日、 H31年1月31日、 H31年2月5日、 H31年2月8日、 H31年2月14日、	地域農業者及び農業関係機関による、地域農業に関する話し合いを市内5地区で行った。	経済観光局 農政部 農政課 011-211-2406
https://www.city.sapporo.jp/keizai/nogvo/keiseienn/plan.html					
生ごみ堆肥化アンケート	堆肥化を実践している市民の方の取り組み状況等を把握し、今後の札幌市の生ごみ減量・堆肥化施策の参考にするために、生ごみ堆肥化機材助成者に対するアンケート調査を行った。	市民アンケート	H30年9月下旬	442人を対象に実施し、回収率は72%であった。	環境局 環境事業部 循環型社会推進課 011-211-2928
http://www.city.sapporo.jp/seiso/gomi/namagomi/namagomienquete30.html					
生ごみ減量・資源化に関する関心度・実践度等調査	市民の生ごみ減量に対する「関心度」や「実践度」等について把握し、今後の生ごみ減量・資源化施策の方向性や内容を検討する際の資料とするためにアンケート調査を行う。	アンケート	H30年12月	等間隔無作為抽出法により抽出した満18歳以上の市民2,500人を対象に実施し、回答率は41.6%であった。	環境局 環境事業部 循環型社会推進課 011-211-2928
http://www.city.sapporo.jp/seiso/houkoku/ang/namagomi_h30.html					
「ごみ減量・資源化に関する行動・意識等」に関する市民意識調査	市民のごみ減量に対する行動や意識等について把握し、今後の生ごみ減量・資源化施策の方向性や内容を検討する際の資料とするためにアンケート調査を行う。	アンケート	H30年10月～ H30年11月	等間隔無作為抽出法により抽出した満18歳以上の市民4,000人を対象に実施し、回収率は59.6%であった。	環境局 環境事業部 循環型社会推進課 011-211-2912
http://www.city.sapporo.jp/seiso/houkoku/ang/chvousazissikekka.html					
駒岡清掃工場更新事業 (環境影響評価)	札幌市環境影響評価条例に基づき、駒岡清掃工場更新事業に係る環境影響評価準備書の公告縦覧、説明会、意見募集を実施する。	準備書縦覧	H30年7月～ H30年8月	30日間縦覧した。(市内4か所及び市HP)	環境局 環境事業部 施設管理課 011-211-2922
		説明会	H30年8月	意見はなかった。	
		意見募集	H30年7月～ H30年9月	意見はなかった。	
http://www.city.sapporo.jp/kankyo/assessment/itiran/jourei06/index.html					
札幌市環境教育基本方針の改定	「札幌市環境教育基本方針」の改定にあたり、有識者・公募委員等からなる「札幌市環境教育基本方針推進委員会」での意見交換や、ワークショップ、パブリックコメント及びキッズコメントを実施した。	委員会 ワークショップ パブリックコメント	H30年7月24日、 H30年11月14日、 H31年3月22日 H30年8月25日、 H30年8月30日 H30年12月20日～ H31年1月24日	「札幌市環境教育基本方針推進委員会」は3回実施。市民を対象としたワークショップについては、無作為抽出により案内を送付し、38人が参加、環境保全活動等実践者を対象としたワークショップは32人が参加した。パブリックコメントは33件(13人)、キッズコメントは251件(139人)の意見があった。	環境局 環境都市推進部 環境計画課 011-211-2877
http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kvoiku/kihon_hoshin/index.html					
まちなか生き物活動	生物多様性に対する市民の関心と理解を深めるとともに、多様な主体の保全活動や連携の促進を図ることを目的とし、NPO法人等の活動団体や企業から企画提案を受け、札幌市域(特に市街地)での生物多様性の保全に関する活動について、委託により実施した。	イベント	H30年7月～ H31年3月	自然観察会等の市民向けの体験イベントを12回、市民向けフォーラムを1回開催し、合計で426人が参加。	環境局 環境都市推進部 環境管理担当課 011-211-2879
http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/machinaka.html					
さっぽろ生き物さがし 2018	札幌の自然環境の状況を把握することを目的に、森林や草地、水辺などの環境の指標となる生き物を市民みんなで調べる一斉調査。参加者からの調査報告をもとに、さっぽろ生き物マップを作成した。	生き物調査の実施	H30年5月～ H30年8月	537人が参加。	環境局 環境都市推進部 環境共生担当課 011-211-2879
http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/chosa/30chosa.html					

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
いきものつながりクイズラリー2018	札幌市内にある動物園や博物館など、動物や植物、自然に触れ合ったり、学んだりすることのできる施設を回るクイズラリーを実施した。	クイズラリー	H30年7月～ H30年9月	253人が参加。	環境局 環境都市推進部 環境共生担当課 011-211-2879
http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/network/30quiz_rally.html					
円山動物園の森ボランティア	円山動物園の森のツアーガイド及び運営管理を行った。	ツアーガイド	H30年5月～ H30年10月	ツアーガイド24回、160名程度参加。	環境局 円山動物園 経営管理課 011-621-1426
		行事の企画・運営	随時		
http://www.city.sapporo.jp/zoo/					
市民動物園会議	平成19年3月に策定した札幌市円山動物園基本構想に沿った経営を行っているかを念頭に確認を受け、基本構想に近づけるための提案・意見を聴取した。	市民会議	年2回	会議を2回実施。	環境局 円山動物園 経営管理課 011-621-1426
http://www.city.sapporo.jp/zoo/					
円山動物園基本方針「ビジョン2050」	開園100年目となる2050年を見据えた円山動物園の基本方針を策定した。	検討部会	H30年7月	検討部会1回実施。	環境局 円山動物園 経営管理課 011-621-1426
		パブリックコメント	H31年1月～ H31年2月	意見提出者数29人、意見数130件。	
http://www.city.sapporo.jp/zoo/					
円山動物園ボランティア	展示動物の解説等を通じて、入園者へのサービス向上と動物園の事業の一層の充実を図り、社会教育及び環境教育に市民自らが貢献した。	飼育動物の解説	随時	ツアーガイド68回1,608名参加 ミニツアーガイド47回2,952名参加 他随時園内で解説ガイドを実施	環境局 円山動物園 飼育展示課 011-621-1426
		園内でのイベント実施	随時	自主イベント8回、動物園主催等事業協力9回	
http://www.city.sapporo.jp/zoo/					
アメリカザリガニ調査隊！	北海道の指定外来種に指定されているアメリカザリガニの駆除体験を通じて、外来生物に対する普及啓発を行った。	外来生物駆除体験イベント	H30年9月1日	大人12人、子ども20人が参加。	環境局 環境都市推進部 環境共生担当課 011-211-2879
http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/event/30amezari.html					
生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワークバスツアー	札幌市環境プラザや札幌市豊平川さけ科学館などの生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク施設を巡るバスツアーを実施し、各施設における見学・体験を通じて、各施設や生物多様性についての理解促進を図った。	バスツアー	H30年11月11日	大人22人、子ども18人が参加。	環境局 環境都市推進部 環境共生担当課 011-211-2879
http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/network/shisetsu.html					
札幌市温暖化対策推進計画の改定	平成27年3月に策定した「札幌市温暖化対策推進計画」及び平成26年10月に策定した「札幌市エネルギービジョン」について、パリ協定・SDGs採択後の世界の潮流や、国の地球温暖化対策計画・適応計画の策定、「第2次札幌市環境基本計画」の策定等を踏まえ、本市の気候変動対策の更なる強化を図るため、計画の改定に向けた検討を行った。	審議会	H30年1月16日	1回実施。	環境局 環境都市推進部 環境計画課 011-211-2877
		協議会	H30年11月15日、 H30年12月19日、 H31年2月1日、 H31年3月13日	4回実施。	
<p style="text-align: center;">(計画) http://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/newplan/index.html (審議会) https://www.city.sapporo.jp/kankyo/shingikai/kankyo_shingikai/index.html (協議会) http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kyogikai/index.html</p>					

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
生物多様性フォーラム	生物多様性を広く普及啓発する取組の一つとして、生物多様性フォーラムを開催した。	フォーラム	H31年2月13日	78人が参加。	環境局 環境都市推進部 環境共生担当課 011-211-2879
http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/event/30forum.html					
カッコー先生杯かるた大会	生物多様性に対する理解や関心の向上を図るため、「生き物かるた」等を使った小学生向けのかるた大会を開催した。	かるた大会	H31年1月11日	小学生48人が参加。	環境局 環境都市推進部 環境共生担当課 011-211-2879
http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/karuta.html#taikai					
さっぽろヒグマフォーラム	獣害対策を通して地域活性化の取組みを実践している事例や札幌市内におけるヒグマの出没状況などについて学び、札幌市におけるヒグマ対策のこれからについて、有識者を交えて討論会を行った。	フォーラム	H31年2月8日	174人が参加。	環境局 環境都市推進部 環境共生担当課 011-211-2879
http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/kuma/					
札幌市次期冬のみちづくりプラン策定	現行の札幌市冬のみちづくりプランの策定から7年が経過し、社会情勢が大きく変化していることから、様々な変化や雪対策の課題に対応した次期プランを策定した。	意見公募、 パブリックコメント	H30年11月	意見提出27名(意見数51件)。	建設局 土木部 雪対策室計画課 011-211-2682
http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/kentouiinkai/iikipurannsakutei/iikipuransakutei.html					
札幌市緑の審議会	緑の保全及び創出に関する重要事項を調査審議した。	審議会	H30年10月、 H30年11月、 H31年3月	委員参加人数:10月15名、11月15名、3月15名	建設局 みどりの推進部 みどりの推進課 011-211-2533
		審議会(部会)	H30年6月、 H30年7月、 H30年11月、 H31年1月	委員参加人数:6月5名、7月6名、11月5名、1月5名	
http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/forest/midorinoshingikai.html					
第4次札幌しみどりの基本計画	札幌市の緑地の保全や緑化の推進に関して、その将来像、目標、施策などを定める計画を策定した。	審議会	H30年6月～ H31年3月	審議会3回、基本計画部会4回実施。	建設局 みどりの推進部 みどりの推進課 011-211-2533
		アンケート	H30年5月	無作為抽出3000人に配布、回収数962人、回収率32.1%	
		ワークショップ	H30年6月	アンケート回答者の中から募集した22名と審議会委員3名が参加。実施回数は1回。	
みどりに関する「市民アンケート調査」	「みどりの基本計画」に示されている目標の進行管理を目的として、みどりに関するアンケート調査を行った。	アンケート	H30年7月	3,000通送付し、回収数1,117通(回収率39.2%)。	建設局 みどりの推進部 みどりの推進課 011-211-2533
http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/survey.html					
新規公園整備及び既設公園再整備	市民ニーズを公園整備に反映させるため、意見交換会等を開催した。	意見交換会	随時	20公園について、各々意見交換会等を実施。 意見交換会:計39回実施、計341人参加。 アンケート:計21回実施、計2113人回答。	建設局 みどりの推進部 みどりの推進課 011-211-2533
		アンケート			
全国都市緑化フェア自治体出展花壇デザイン制作に係るワークショップ	平成31年4月から長野県で開催される全国都市緑化信州フェアに自治体花壇を出展するにあたり、テーマ及びデザインを検討するワークショップを開催した。	ワークショップ	H30年5月～ H30年8月	計2回開催。ボランティア、学生等6名が参加。	建設局 みどりの推進部 みどりの管理課 011-211-2522
http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/hanamidori/fair/index.html					

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
さっぽろタウンガーデナーによる各種事業協力	花と緑のまちづくりに携わるさっぽろタウンガーデナーから参加者を募り、市民協働による緑化の取組みを実施した。 ・本庁舎前おもてなし花壇のコンテナデザイン、植栽、維持管理 ・市民ホール前コンテナファーム周知イベントのボランティアスタッフ ・大通界隈フラワーコンテナの植栽、維持管理 ・オフィスの潤い推進事業におけるポットづくりボランティア	本庁舎前おもてなし花壇ボランティア参加	H30年5月26日～ H30年10月27日	65名が参加。	建設局 みどりの推進部 みどりの管理課 011-211-2522
		市民ホール前コンテナファームイベントスタッフ	H30年9月21日	10名が参加。	
		大通界隈フラワーコンテナボランティア参加	H30年6月29日～ H30年10月9日	7名が参加。	
		オフィスの潤い推進事業 ポットづくり	H30年10月19日	14名が参加。	
	本庁舎前おもてなし花壇: http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/hanamidori/miryoku/ashikadan/index.html 市民ホール前コンテナファーム周知イベント: http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/hanamidori/miryoku/slow/index.html 大通界隈フラワーコンテナ: http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/hanamidori/miryoku/odorikawai/index.html オフィスの潤い推進事業: http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/hanamidori/tokusyu/office/index.html	札幌駅南口駅前広場フラワーハンギング制作講習会	H30年6月15日	16名が参加。	
公園再整備事業の効果検証	再整備や新規整備した公園の効果を検証し、今後の公園整備の検討資料とするため、主に平成29年度に再整備等が完了した公園について、その周辺の住民に対し、アンケート調査を行った。	アンケート	H30年8月～ H30年9月	方法:対象13公園周辺の計5,200人に実施。 結果:回答1,856人(回収率35.7%)。	建設局 みどりの推進部 みどりの推進課 011-211-2533
清田区里塚地区の市街地復旧に向けた地元説明会	平成30年北海道胆振東部地震に伴う液状化により、道路や宅地に甚大な被害を受けた清田区里塚地区の被災住民を対象に、市街地復旧に向けた方針や対策工事に関する説明や、被災者の生活支援のための情報提供などを行った。	第1回地元説明会	H30年9月13日	地震により清田区里塚地区内に生じた被害の概況報告と緊急対応の状況、原因究明のための調査方針、被災者の生活支援策について情報提供(500人参加)。参加者のご要望やご不安の声を聴取。	建設局 市街地復旧推進室 清田区里塚地区市街地復旧推進担当課 011-211-2390
		第2回地元説明会	H30年10月18日	宅地造成の経緯、原因究明のための調査の進捗状況、被災者の生活支援策、被害発生要因の報告、他都市における復旧事例を交えた復旧方針、冬季に向けた対策について情報提供(300人参加)。参加者のご要望やご不安の声を聴取。	
		第3回地元説明会	H30年11月15日	対策工の方向性、冬季に向けた対策、防犯対策、今後のスケジュールについて情報提供(230人参加)。参加者のご要望やご不安の声を聴取。	
		第4回地元説明会	H30年12月19日	対策工法の詳細、対策工への同意、用地確定測量、冬季に向けた対策、復旧スケジュールについて情報提供(200人参加)。参加者のご要望やご不安の声を聴取。	
	http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/stn/satozuka.html				
里塚中央町内復興に向けた各種支援及び地盤強化に伴う同意内容等の説明会	平成30年北海道胆振東部地震に伴う液状化により、道路や宅地に甚大な被害を受けた清田区里塚地区内において、里塚中央災害復興委員会が、再度の大規模な土砂流出を防止する対策範囲の地権者を対象として開催する説明会に参加して、住宅再建を支援する制度の説明など、地元説明会の振り返りとともに、公共事業の実施に関する確認書や工事施工に伴う生活への影響等を説明などを行った。	説明会	H31年2月23日	被災者の生活支援策の紹介、対策工事の実施スケジュール、工事の流れ、対策工事の同意、対策工実施中の生活影響、確認書等の説明、里塚現地事務所の紹介(100人参加)。参加者のご要望などを聴取。	建設局 市街地復旧推進室 清田区里塚地区市街地復旧推進担当課 011-211-2390

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
下水道事業パネル展	9月10日の「下水道の日」関連行事として、普段意識されることの少ない下水道の役割について普及・啓発するためのイベントを開催した。30年度は、パネル展示やトークイベント、クイズラリーを行ったほか、顕微鏡による微生物の観察を通じた体験型の展示を盛り込み、多くの方が楽しめるよう多様な展示を盛り込んだ。	アンケート	H30年9月1日、 H30年9月2日	2日間で2,265人の来場うち、811人からアンケートの回答が得られた。	下水道河川局 経営管理部 経営企画課 011-818-3452
http://www.city.sapporo.jp/gesui/event/30panel.html					
札幌市河川環境推進会議	よりよい河川環境を保全・創出するため、平成20年度に札幌市の川づくりの方向性を示す、札幌市河川環境指針を策定した。本指針が適切に推進されているかを検証するため、「札幌市河川環境推進会議」を開催している。また、会議の開催に先立ち、現地視察会を開催する。	現地視察会	H30年10月2日	委員7名参加による、現地視察会を実施。	下水道河川局 事業推進部 河川事業課 011-818-3414
		会議	H31年1月8日	委員5名参加による河川環境推進会議の実施。	
http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/kankyoushishin/suisinkaigi.html					
市民との協働による河川環境整備事業	市民ボランティアや専門家と共に、創成川の環境整備を実施し、検証する。	現地作業(整備)	H30年7月11日	ボランティア参加による環境整備の実施(10名程度)。	下水道河川局 事業推進部 河川事業課 011-818-3414
		現地作業(調査)	H30年8月29日	ボランティア参加による環境整備効果把握の実施(10名程度、流速調査、魚類調査等の実施)。	
市民との協働による河川環境整備事業(熊の沢川)	準用河川熊の沢川の河川環境整備事業(サクラ並木造成事業)において、町内会等との協働による苗木植樹を行う。	計画策定への参加	H30年7月～ H30年10月	町内会・老人クラブと協働による整備計画・植樹方法の検討を行った。	下水道河川局 事業推進部 河川事業課 011-818-3414
		整備作業への参加	H30年10月15日	町内会・老人クラブ・小学生と協働によるサクラ苗木植樹(70名程度)。	
がけ地防災パネル展	がけ地防災パネル展来場者に対してアンケートを実施し、日頃の防災に対する意識や備え等を調査。	アンケート	H30年8月～ H30年11月	8会場(中央区、厚別区、豊平区、西区、手稲区、オーロラスクエア)で開催。	都市局 市街地整備部 宅地課 011-211-2512
http://www.city.sapporo.jp/toshi/takuchi/takubou/panel.html					
土砂災害警戒区域等指定に係る住民説明会	土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等指定(指定権者:北海道)のため、北海道及び関連所管部(札幌市危機管理対策室及び札幌市河川管理課)と連携して住民説明会を開催。	説明会	H30年9月～ H31年1月	中央区、厚別区、清田区、南区、手稲区にて住民説明会などの周知活動を実施。	都市局 市街地整備部 宅地課 011-211-2512
http://www.city.sapporo.jp/toshi/takuchi/takubou/doshasaigaikaikaiki.html					
札幌市住宅マスタープラン2018	札幌市の住宅施策を長期的・総合的な視野から整理・体系化し、今後の住宅施策を展開する際の方向性を示す計画	パブリックコメント	H30年8月21日～ H30年9月20日	意見提出4件。	都市局 市街地整備部 住宅課 011-211-2807
http://www.city.sapporo.jp/toshi/iutaku/07toukei/kihon/iumasu2018.html					
篠路駅東口土地区画整理事業における地元説明会	篠路駅東口土地区画整理事業の事業計画に関して、地元住民に説明会を行う。	地元説明会(全5回)	H31年1月29日、 H31年1月31日、 H31年2月5日、 H31年2月7日、 H31年2月12日、	区画整理事業に係る地元説明会を全5回開催。合計で18人の住民が参加。	都市局 市街地整備部 区画整理事業課 011-211-2657
木造住宅耐震診断員派遣事業 木造住宅耐震改修工事等補助事業	旧耐震(昭和56年5月31日以前に建築されたもの)の木造住宅を対象に、耐震診断員を派遣する事業を行っている。また、耐震診断の結果、耐震性が不十分と診断された木造住宅の耐震設計・耐震改修工事の支援を行っている。	アンケート	H30年6月～ H30年12月	237件の回答が得られた。	都市局 建築指導部 建築安全推進課 011-211-2867
		セミナー	H30年8月6日	37名が参加。	
http://www.city.sapporo.jp/toshi/k-shido/taishin/mokuzou.html					

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
札幌市建築基準法施行条例の改正	建築基準法の改正に伴い、特定の区域における特殊建築物のうち、学校、公会堂等の用途に供する建築物の外壁及び軒裏で延焼のおそれのある部分を防火構造としなければならないことを規定する同法第24条が、消防力の向上等を理由として廃止されたことから、同条の規定の適用を受けない一部の特殊建築物に対し、同様の規制を附加する札幌市建築基準法施行条例第61条を廃止した。	パブリックコメント	H30年7月25日～ H30年8月23日	意見なし。	都市局 建築指導部 管理課 011-211-2859
http://www.city.sapporo.jp/toshi/k-shido/public/kijyun/h30kijyun.html					
札幌市建築基準法施行条例の改正	都市計画法の規定に基づく特別用途地区のうち、新たに「第二種特別工業地区」及び「スポーツ・レクリエーション地区」が決定される予定であるほか、既存の「第二種職住共存地区」及び「戸建住環境保全地区」における建築制限の内容を変更するため、特別用途地区内の建築制限を規定する札幌市建築基準法施行条例の一部を改正した。	パブリックコメント	H30年11月29日～ H30年12月28日	意見提出2件。	都市局 建築指導部 管理課 011-211-2859
http://www.city.sapporo.jp/toshi/k-shido/public/h30kijyun/1129_kijyun_public-comment.html					
市立札幌病院 中期経営計画	市立札幌病院の担うべき役割、経営改善の指針を定めた経営計画の策定を行う。	審議会	H30年4月～ H31年1月	審議会8回(専門家検討会含む)開催。	病院局 経営管理室経営管理部 経営企画課 011-726-2211
		パブリックコメント	H31年2月～ H31年3月		
教育委員会事務点検・評価における児童生徒等との意見交換の実施	教育委員会事務点検・評価の実施に当たり、事業・取組についてより理解を深め、効果や課題を的確に把握することを目的に、教育長及び教育委員による授業視察や児童生徒等との意見交換を実施した。	意見交換会	H30年6月12日 H30年6月14日	白楊幼稚園において、園児数十名、白楊小学校児童数十名と交流。 平岡公園小学校において、児童31名と意見交換、交流。	教育委員会 生涯学習部 総務課 011-211-3829
http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/information/tenkenhyouka.html					
札幌市教育振興基本計画の改定	札幌市教育ビジョン(計画期間:H26～35年度)と札幌市教育アクションプラン(前期計画期間:H26～30年度、後期計画期間:H31～35年度)で構成する札幌市教育振興基本計画について、前期の教育アクションプランの計画期間が終了することから、後期の教育アクションプラン策定に伴う改定を行った。	検討会議(懇話会形式)	H30年6月～ H30年8月	14名を委員として委嘱・任命し、計4回開催。	教育委員会 生涯学習部 総務課 011-211-3829
		パブリックコメント	H30年12月20日～ H31年1月18日	18名から40件の意見が提出された。	
		キッズコメント	H30年12月20日～ H31年1月18日	148名から468件の意見が提出された。	
http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/keikaku/ikenbosyu.html					
サッポロサタデースクール事業	地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の豊かな社会資源を活用したプログラムを、土曜日等に学校施設等を活用して実施する事業。社会教育委員会(学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育関係者並びに学識経験者から構成)において、事業の実施方針の検討、事業の検証・評価等を行った。	附属機関(社会教育委員会)	H31年1月11日、 H31年3月13日	計2回実施。 1回目:出席者9名、評価・検証等意見数8件。 2回目:出席者10名、評価・検証等意見数6件。	教育委員会 生涯学習部 生涯学習推進課 011-211-3872
http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shogaikyoiku/renke/saturday/index.html					
札幌市青少年科学館活用基本構想	青少年科学館の今後の在り方を明らかにするとともに、展示物や施設設備の更新等に当たっての基本的な考え方を整理するため、「札幌市青少年科学館活用基本構想」を策定した。	パブリックコメント	H30年10月9日～ H30年11月8日	33名から56件の意見が提出された。	教育委員会 生涯学習部 生涯学習推進課 011-211-3871
http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shogaikyoiku/kagakukan/kihonkoso.html					
学校改築事業	本町小学校、二十四軒小学校の改築基本設計にあたり、学校関係者、保護者、地域住民等の代表及び行政による協議会、住民説明会を開催するなどし、施設づくりに対する意見を聞いた。	協議会	H30年10月頃～ H30年12月頃	H30年11月～12月にかけて実施。	教育委員会 生涯学習部 学校施設課 011-211-3835
		住民説明会	H31年2月頃	H31年2月に実施。	

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
学校規模適正化推進事業	「札幌市立小中学校の学校規模の適正化に関する地域選定プラン[第2次]」で選定した、厚別区上野幌・青葉地域及び南区石山・芸術の森地域において、保護者や地域の方々、学校関係者などから構成される「小規模校検討委員会」等を昨年度に引き続き開催するなどし、学校規模の適正化に向けた取組を進めた。 また、厚別区上野幌・青葉地域の北側地区、南区石山・芸術の森地域芸術の森地区で新設校の校名の公募を実施した。	検討委員会	H30年6月～ H31年3月	上野幌・青葉地域7回、石山・芸術の森地域5回実施。	教育委員会 生涯学習部 学校施設課 学校規模適正化 担当 011-211-3836
		校名公募(北側地区)	H30年4月～ H30年5月	260件の応募があった。	
		校名公募(芸術の森地区)	H30年8月～ H30年9月	425件の応募があった。	
http://www.city.sapporo.jp/kvoiku/top/tekisei/tekisei1.html					
図書館等利用者アンケート	各図書館施設において、図書館サービスに関する満足度調査を実施する。	アンケート	H30年8月～ H31年3月	中央図書館及びえほん図書館、各地区図書館の11館で実施。2,102人に配布し、1,815人から回答(回収率86.3%)。	教育委員会 中央図書館 運営企画課 011-512-7330
http://www.city.sapporo.jp/toshokan/guide/liv/top.html					
避難所運営体制づくり取組支援事業	災害時に円滑な避難所開設・運営を可能とするため、地域住民、避難所施設管理者、区役所による協議の場を設け、地域住民による継続した自主運営体制づくりを支援する。	検討会	H30年8月10日・ H30年10月30日 H30年8月7日・ H30年12月27日 H30年8月9日・ H30年11月19日 H30年7月26日・ H30年11月15日 H30年8月7日・ H30年11月21日 H30年8月2日・ H30年12月11日	盤溪小学校避難所運営検討会(1回目：11名・2回目：24名) 山鼻小学校避難所運営検討会(1回目：37名・2回目：22名) 山鼻中学校避難所運営検討会(1回目：16名・2回目：24名) 中央中学校避難所運営検討会(1回目：38名・2回目：28名) 伏見中学校避難所運営検討会(1回目：20名・2回目：20名) 向陵中学校避難所運営検討会(1回目：38名・2回目：35名)	中央区 市民部 総務企画課 011-205-3205
http://www.city.sapporo.jp/chuo/kinkyu/hinaniyo/hinansvouneitaisei.html					
市電と沿線の活性化事業	市民、各種団体、学校等との連携により、市電を活用した様々な事業を展開して情報発信を行うことで、市電沿線地域の活性化を図る。	イベントへの参加及びアンケート	H30年8月8日 H30年10月11日 H30年12月16日 H31年3月11日	夏休み自由研究教室～市電で学ぼう！体験しよう！作ってみよう！～(26名参加) 貸切電車DE子育てサロン(25名) 貸切電車DEミュンヘン・クリスマス(37名) 貸切電車DE俳句を詠む(22名)	中央区 市民部 地域振興課 011-205-3221
市電沿線関係団体ネットワーク構築事業	市民や関係団体からなるプロジェクトにより、市電及び沿線の活性化を目的とした冊子「市電BOOK」を発行する。	会議	H30年9月29日	平成30年度市電BOOKプロジェクト活動報告会(7名参加)	中央区 市民部 地域振興課 011-205-3221
野菜摂取アイデア集作成のためのワークショップ	野菜摂取量を増やすため、野菜摂取に関するアイデア集を作成する。そのため、区と食育に関する連携協定を結んでいる光塩学園調理製菓専門学校の学生とのワークショップを行い、アイデアを募った。	ワークショップ 野菜摂取アイデア集の作成	H30年4月27日 H30年8月31日(完成)	日本料理、中国調理専攻の学生10人が参加。 8/31マタニティッキングにてお披露目。作成に協力いただいた専門学校の学校祭や地域の健康講座等で5000部配布。	中央区 保健福祉部 健康・子ども課 011-511-7223
http://www.city.sapporo.jp/chuo/news/h30/180427.html http://www.city.sapporo.jp/chuo/kenko/recipe/mainitivyasai.html					

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
食育ネットワーク会	区民の食育の普及啓発及び情報交換を関係機関と連携して実施した。	情報交換	H30年4月16日 H30年5月16日 H30年7月19日	第3次札幌市食育推進計画について 大学生の食生活の実態について、6月食育月間について 8月野菜摂取強化月間、朝ごはんレシピについて	中央区 保健福祉部 健康・子ども課 011-511-7223
		食育講座	H30年6月12日、 H30年6月19日、 H30年6月25日 H31年1月31日、 H31年2月5日、 H31年2月8日 H31年3月15日、 H31年3月18日	北星学園女子高校にて食育講座180人参加 龍谷学園高校にて食育講座96人参加 北星学園女子高校にて食育講座64人参加	
http://www.city.sapporo.jp/chuo/news/h30/180619.html http://www.city.sapporo.jp/chuo/news/h30/190205.html					
北区の歴史資源を活用したまちづくり	北区における亜麻の歴史の記録・伝承を目的とする小冊子の作成のため、亜麻を活用したまちづくりに取り組んでいる市民団体の役員を中心として実行委員会を組織し、平成28年度以降取り組んできた調査・取材活動に基づいて、その内容となる原稿を作成した。	実行委員会	H30年4月～ H31年3月	計6回の実行委員会会議を開催し、平成28年度の実行委員会の設立以来行ってきた調査、取材、資料収集等の活動によって得られた成果を総合的にまとめ、冊子「亜麻のまち 麻生」の原稿データとして完成させた。	北区 市民部 地域振興課 011-757-2407
www.city.sapporo.jp/kitaku/syoukai/rekishi/amanorekishi.html					
北区アダプト・プログラム支援事業	区と市民団体(学校、企業など含む)が美化活動の内容について覚書を交わし、これに基づいて市民団体は清掃等の活動を、区は清掃用具の支給等により活動の支援を行った。	事業協力	H30年4月～ H31年3月	平成30年度までに北区と覚書を締結している計10団体が、それぞれの活動区域において清掃活動や冬季の砂まき活動等を行い、地域の環境美化に貢献した。	北区 市民部 地域振興課 011-757-2407
区民交流促進事業	地域や指定管理者、学校などと協力しながら、区民が交流できるふれあいの場を創出することを目的とした秋祭り「ぼっぴいはっぴいきたまちフェスティバル」を実施した。	市民スタッフ	H30年10月12日	幅広い世代が参加することのできる秋祭り「ぼっぴいはっぴいきたまちフェスティバル」を実施し、運営補助として学生ボランティアスタッフの協力を募り、大学生のまちづくり参加のきっかけづくりとした。	北区 市民部 地域振興課 011-757-2407
駅を中心としたみどりの顔づくり事業	JR駅前に特徴を持たせた緑化スペースを設置し、駅を核としたまちづくりを進め、地域の活性化を図るとともに、市民の緑化意識の高揚を図る。	花苗植栽	H30年6月	小学生100名、大人50名参加。	北区 土木部 維持管理課 011-771-4211
		除草・水やり	H30年6月～ H30年10月		
あいの里地区健やかな樹林環境推進事業	団地造成から38年以上経過した、あいの里地区の樹林(主に道路緑地)について、地域住民との合意形成を図りながら、将来にわたり健全な樹林環境を維持していくための維持管理計画を策定する。	ワークショップ	H30年4月～ H31年3月	100名参加。	北区 土木部 維持管理課 011-771-4211
		現地調査	H30年7月	50名参加。	
ひがしくハッピー・タッピーコンサート出演候補者選考委員会	奇数月開催の「ひがしくハッピー・タッピーコンサート」の出演者を区内の音楽関係者、文化団体、学識経験者等により構成された選考委員会により選考する。	出演候補者選考委員会	H30年4月9日	区内の学識経験者、文化団体、音楽関係者等で構成される選定委員会により平成30年度の候補者を選考した。	東区 市民部 地域振興課 011-741-2429
東区子育て支援推進ネットワーク情報交換会	東区内の10地区を3ブロック(3～4地区で1ブロック)とし、ブロックごとで子育て支援に関する情報交換を行なう。	情報交換会	H30年7月9日、 H30年7月10日、 H30年7月13日	地域の人が発言する機会を多く持てるように配慮し、活発な意見交換が行われた。また、地域がにつながるためにそれぞれが工夫していることや、現在と昔の違いを知っているからこそ今できること等が内容として出ており、各グループごと有意義な話し合いとなった。	東区 健康・子ども課 子育て支援担当係 712-6331

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
白石区複合庁舎にぎわい協働プロジェクト事業 https://www.eventhiroba.com/blank-3	白石区複合庁舎のまちづくりイベント広場を活用して、区民や関係団体との協働により、賑わいを創出するイベントを開催するとともに、まちづくり団体のネットワークづくりを支援した。	利活用協議会	H30年7月～ H31年3月	区民協働スペースの利活用に関する検討会議を3回開催。	白石区 市民部 地域振興課 011-861-2422
		市民ボランティア	H30年4月～ H31年3月	ボランティア登録者17名。	
厚別区防災訓練	行政と防災関係機関及び地域住民が連携し、防災力の向上を図るため訓練を行った。	訓練参加、 アンケート調査	H30年8月30日	住民120名が参加。	厚別区 市民部 総務企画課 011-895-2419
厚別区防災講演会	防災意識の啓発と防災知識の普及のため、専門の講師による講演会を行った。	講演会、 アンケート調査	H30年11月17日	200名が参加。	厚別区 市民部 総務企画課 011-895-2419
豊平区アダプト制度 http://www.city.sapporo.jp/toyohira/machi/furemachi/adopt.html	本来、行政が維持管理すべき豊平区内の道路等の公共物を対象に豊平区との役割分担に基づき、市民が主体的かつ自主的に環境美化に取り組む。	事業協力	通年	参加者：豊平区内の町内会及び企業8団体 内容：道路清掃や花壇整備、冬期間の砂撒きなど。	豊平区 市民部 地域振興課 011-822-2427
北海学園大学と地域による協議会	北海学園大学とその周辺地域である豊平地区及び平岸地区の町内会連合会と商店街振興組合並びに豊平区が、相互の交流と地域のまちづくりにおける協力関係の確立を目的に、互いの活動内容等の情報交換等を行う。	意見交換会	H30年5月14日	参加者：22名(町内会、商店街、大学、学生団体、区関係者) 内容：学生のまちづくり活動や地域事業の情報交換(29年度の活動実績や30年度の実施予定等)。	豊平区 市民部 地域振興課 011-822-2427
「ワクワクとよひらんど」きたえーでA・S・O・B・O!!	豊平区内9地区の関係機関、団体が実行委員会を設置し、乳幼児親子に楽しい遊びの場を提供する。いろいろな遊びを通して幅広い世代と交流し、地域の子育てサロンの情報を得るなど、乳幼児親子が地域とつながりを深める場の提供をする。	実行委員会	H30年7月下旬～ H30年9月上旬	準備会議7月31日開催。44名が参加。	豊平区 保健福祉部 健康・子ども課 011-822-2474
		実施当日スタッフ参加	H30年9月11日	北海道胆振東部地震の影響により、来場者の安全確保が困難なため中止	
げんき雪んこまつり	地域と子育て家庭とのつながりを深めるため、中の島・平岸地区の子育て支援関係機関、団体が実行委員会を設置し開催する。乳幼児(親子)・小学生は、地域やボランティアに見守られ冬の遊びを楽しく体験する。また、ボランティアの生徒は、事業を通じて地域の様々な年代の人との交流を体験する。	実行委員会	H30年11月19日	準備会議11月19日開催。21名が参加。	豊平区 保健福祉部 健康・子ども課 011-822-2474
		実施当日スタッフ参加	H31年1月10日	げんき雪んこまつりを1月10日実施。地域ボランティア、学生ボランティア91名が参加。親子参加は276名。	
とよひら”風土”ネット会議	区民の食育の普及啓発及び情報交換を関係機関と連携して実施する。	会議	H30年11月2日	開催回数：1回 参加者：9団体9人 内容：事業報告、情報交換	豊平区 保健福祉部 健康・子ども課 011-822-2472
豊平区健康づくりネットワーク会議	地域での活動の推進を図るため、自主的に健康づくり活動に取り組む区民に集まってもらい、活動について情報交換等を行う。	会議	H31年3月11日	開催回数：1回 参加人数：健康づくり自主活動グループ5団体(8名) 内容：活動報告、情報交換、健康測定体験	豊平区 保健福祉部 健康・子ども課 011-822-2472

平成30年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
	HPアドレス				
きよたまちづくり区民会議	各地区町内会連合会をはじめさまざまな団体の代表者などが集まり、平成20年3月に設立。各団体の情報を全体の情報として共有し、まちづくりに生かすことを目的としており、さまざまな視点から議論を重ね、各団体や区役所とともにまちづくりを進めている。区や地域・各種団体と、区民フォーラムやきよたマルシェ&きよフェスの内容を検討・実施した。また、これまでのまちづくりの検証を行うとともに、今後の進め方を検討した。	会議(ワークショップ等) 区民フォーラム、アンケート 事業共催(「きよたマルシェ&きよフェス」)	H30年7月23日、 H31年3月15日 H30年10月27日 H30年10月27日	計2回区民会議を実施した。それぞれ21名・15名が参加し、区のまちづくりについて意見交換等を行った。 約120名が参加した。「地域の強みを活かしたまちづくり」をテーマに有識者による基調講演を行うとともに、来場者を対象にまちづくりに関するアンケートを行った。 マルシェでは26団体の飲食店等の出店、フェスでは5団体のアーティストの参加があり、計約1,200名の来場者があった。北海道胆振東部地震の影響で日程を延期して実施し、復興支援のためチャリティ抽選会等を行った。	清田区 市民部 地域振興課 011-889-2024
	http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/kumin_kaigi/index.html				
認知症家族の孤立防止事業	「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015」に位置づけて、地域住民による認知症に関する講座・交流会の開催を支援予定	事業協力	H30年6月～ H31年2月	11回実施。	清田区 保健福祉部 保健福祉課 011-889-2042
	http://www.city.sapporo.jp/kiyota/hoken-fukushi/koritubousi.html				